

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月29日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【既設多核種除去設備における循環運転中の圧力の低下について】 既設多核種除去設備において、循環運転中に循環ポンプ2Aの吐出圧力の低下を確認。 循環運転中に「全閉」している6か所の弁からシート漏えいを確認。外部への漏えいはなし。 通常の運転中は上記6か所の弁は「開」となるため、通常の運転に影響なし。 今後、弁の点検を行う。	GⅢ
2	【「防災訓練実施結果報告書」の誤記について】 原子力規制庁に提出した平成29年度の「防災訓練実施結果報告書」において2か所の誤記があることが判明。 なお、他の部分には誤記がないことを確認。 今後、当該報告書の訂正箇所、発生原因、再発防止対策を文書にまとめ、原子力規制庁と面談を行い、当該報告書を再度提出する。	GⅢ